

平成28年度家具等転倒防止対策推進フェア及びあいち防災フェスタ・防災＆ボランティアフォーラムを開催しました！



南海トラフ地震などの大規模災害に備え、地域の防災力を高めるために、県民や自主防災組織、企業、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の形成を推進することが重要となっています。

こうした中、防災意識の向上や災害ボランティア活動への理解の促進を目的とする『家具等転倒防止対策推進フェア及びあいち防災フェスタ・防災＆ボランティアフォーラム』を「あいち地震防災の日」である平成28年11月13日（日）に愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で開催しました。

オープニングセレモニーでは、防災活動に積極的に取り組み、地域防災力の向上に貢献した自主防災組織等の5団体に対して、防災貢献団体表彰を行いました。

セレモニー終了後は、動物戦隊ジュウオウジャーのショーやあいち消防団PR大使「OS☆U」によるライブステージが行われたほか、家具の固定方法、とよたSAKURAプロジェクトによるプリウスPHVを用いた車両外部給電体験、陸上自衛隊による豚汁の炊出しや、各ブースにおいて災害時に役立つ知識の紹介、津波・大規模風水害対策車を始めとする防災関係車両の展示などが実施されました。

このイベントは例年雨続きでしたが、数年ぶりに天候にも恵まれ、お子様から御年配の方まで約7,500名の方に御来場いただきました。



大村知事（あいち防災協働社会推進協議会会長）あいさつ



オープニングセレモニーご出席者



動物戦隊ジュウオウジャーによるショー



SAKURA プロジェクトによる車両外部給電体験（豊田市）



防災関係車両の展示



地震体験車「なまず号」による地震体験（愛知県）

平成28年度 愛知県防災貢献団体表彰受賞団体の取組を紹介します！

御岳防災会（日進市）

市内でも初期に設立された自主防災組織であり、尾三消防組合等と協働し、毎年地域防災訓練を実施しています。地区内の防災用資機材等の点検・補充を実施するとともに、民生委員との協力による地域内の要援護者の個別訪問、学区子ども防災マップ作成、市等との協働による地域総合防災訓練などを実施しています。

津島市西小学校区コミュニティ推進協議会自主防災部会（津島市）

平成19年に防災講演会を実施して以降、平成20年には津島市総合防災訓練を共催し、平成21年以降は毎年津島市西小学校区自主防災訓練を実施しています。津島市西小学校区コミュニティ推進協議会の発行する情報誌「ふじの里」を活用して情報発信しています。

東栄・今本町自主防災会（安城市）

避難所となる小学校において避難所運営等の訓練、宿泊を行う「防災キャンプ」を開催するとともに、地域のコミュニティセンターを利用し、幅広い世代にわたり多くの地域住民が参加できる自主防災訓練を企画運営しています。また「家具転倒防止お助け隊」を結成し、家具転倒防止・ガラス飛散防止の普及に取り組んでいます。

飛高区自主防災会（江南市）

地区に合わせた訓練を実施し、地域の防災力向上に多大な影響を与えている自主防災組織です。机上訓練、タウンウォーキング、総合防災訓練を毎年実施するとともに、今年度から避難所運営訓練を実施するなど新たな取り組みを行っています。

船島防災まちづくり研究会（東海市）

平成21年に全世帯を対象とした防災意識調査とその結果の周知を行い、これ以降、各種防災訓練や養成講座の実技・学習を毎月1～2回の頻度で実施しています。また、コミュニティ運営委員会の広報誌「きずな」を活用して情報発信しています。



愛知県防災貢献団体表彰制度ってなに？

愛知県防災貢献団体表彰制度とは、地域社会に活動基盤を持つ自主防災組織や企業などの中から、優れた工夫・アイデアを防災活動に取り入れて活動している団体を表彰する制度です。これまでに受賞した団体は、以下のHPでご紹介しています。

「愛知の自主防災会～自主防災会の活動等をご紹介します～」
http://www.pref.aichi.jp/bousai/zisyubou_shoukai/index.html
 （愛知県防災局HPにリンク有り）



平成28年度愛知県防災貢献団体表彰授賞式の様子



防災の基本は自宅の耐震

老朽化した木造住宅は、大規模地震により倒壊の危険性が高く、住宅の倒壊によって人命を失わないためにも、早期に住宅の耐震化を図る必要があります。愛知県は、明治以降現在までの間に明治24年（1891年）の濃尾地震や昭和19年（1944年）の東南海地震、翌昭和20年（1945年）の三河地震と3回もの大地震に見舞われ、多くの尊い命が犠牲になりました。住宅倒壊からご自身やご家族の生命を守り、被災後の安全・安心な生活を守るため、自宅の耐震化を実施しましょう。

なお、昭和56年5月末日までに着工された木造住宅にお住まいの方は、愛知県内の各市町村において無料で専門家を派遣し、耐震診断を行っています。耐震工事についても助成金の制度がございますので、詳細は各市町村の建築担当課へお問い合わせください。

（参考）木造住宅（無料）耐震診断及び市町村建築担当課一覧
 （「愛知県建築物地震対策推進協議会」のホームページ）

<http://www.aichi-jishin.jp/before/mokuzo.html>

【参考】愛知県建築物地震対策推進協議会について

愛知県では、「愛知県建築物地震対策推進協議会」を県内全市町村及び関係団体と協力し設置しています。この協議会は、建築物の総合的な地震対策の推進を図るため、耐震診断や耐震改修等の普及・啓発等、建築物の震前対策の推進と、地震により被災した建築物及び宅地の危険性を判定する被災建築物応急危険度判定制度及び被災宅地危険度判定制度の適正な運用と連携を図ることにより、県民生活の安全に資することを目的とした団体です。

防災ナマズンのQ & Aコーナー



Q 近いうちに南海トラフ地震が起こるって言われているけど、愛知県の各家庭での防災対策は進んでいるのかな。

A 県が平成28年1月に実施した防災意識調査結果を見ると、まだまだ十分とは言えないんだ。例えば家具などを固定している家庭は54%、備蓄品を3日以上用意している人は30%だったんだ。

（参考）平成27年度防災（地震）に関する意識調査結果

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/isikityousakekka27.html>

Q TVや新聞などで地震の恐さは伝えられているのに、どうして防災対策が進まないの？

A これまでも色々な地域で地震があったけど、「自分たちの住むこの愛知県で起こったら」って現実的に考えるのが難しいのかもしれないね。

Q そっかー。じゃあどうすればいいんだろう。

A 防災対策の必要性を感じてもらうためには、地道に防災意識の共有を図っていくしかないと思う。皆で災害に備えようっていう意識が持てれば理想的なんだけど。何より、防災で大切なのは行動すること！とりあえず、まずは何か一つ自助の取り組みを実践してみよう。いざという時に自分や家族の命を守るためって考えたら、きっとやる気も出るはずだよ！

Q あれこれ考えるより、行動してみることが大切なんだね！早速今からホームセンターに行って、テレビを固定するためのグッズを買ってくるね！

A あれ、僕と遊ぶ約束は・・・。

Q また今度ね、ばいばーい！